

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスもりびた

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

4月

1日

法人（事業所）理念		子どもが「まんなか」です。支援の中心はお子さまで、支援の根っこはお子さまらしくあれることです。私たちは、周囲や社会のためではない、その子がその子らしくあれるために必要な支援と環境を考えます。誰のためか？その課題は誰のものか？誰が困っている（困る）のか？私たちが寄り添う課題や困りは、誰かのものではなく目の前の子どもたちでありたいと考えています。そのために、保護者の皆さまとともに、関係機関、医療、専門機関、地域の方々、かけがえのない支援者の皆さまとコミュニケーションを取り、協力をいただきながら、子どもたちが自分らしくあれる環境と社会を一緒につくっていきます。		
支援方針		1. 子どもの選択と経験を見守る 2. 安心して自分らしさを表現できる環境設定 3. 多様な存在とともに過ごす		
営業時間		平日 10時00分～18時00分 土・学校休日 9時30分～17時30分	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	広々として自然豊かな野外環境での身体全体を使った遊びや自然素材を用いた細かな工作を通して、子どもたちの五感を刺激し、運動機能や感覚の発達を促します。また、ときに予測が難しく、扱いが難しい自然物や自然環境は、子どもたちの感覚や知識経験に基づいた状況把握能力とそれに合わせた身体操作能力を培います。		
	運動・感覚	自然と必要最低限な施設環境の中で、心と身体の声に耳を傾けた過ごし方を提案します。体調に合わせた過ごし方、気温の変化や活動に合わせた服装などを、子どもたちの実感から行動を促し、日常生活に活かせるようにサポートします。また、庭では畑づくりを行っており、自分たちで作った野菜を料理して食べる経験などを通じた食育も行っています。		
	認知・行動	時間とともに変化する自然のなかで、本物を目で見て、耳で聞き、触って確かめる体験を重視します。木登りや自然素材をつかった工作、虫や動物などの生き物と過ごすことなどを通して、自然ならではの不均一ながら本質的な空間感覚や時間感覚を学びます。また、実際の体験を通じた経験の積み重ねが、子どもたちの自信や自尊心を育てます。		
	言語 コミュニケーション	集団での遊びや活動を通じて、信頼関係を土台に、自分の気持ちを伝え、相手の話を理解できるよう、経験や実感をもった言葉選びやコミュニケーションを学びます。大人が寄り添った環境での実際のコミュニケーションで、うまくいかないことを経験し、受け止め、その子に合った表現や関わり方を一緒に考えていきます。		
	人間関係 社会性	集団のなかで子どもたち同士や大人と関わりながら、自分を大切に、他者を大切にする信頼関係の築き方を、実践をもって学びます。大人が子どもひとりひとりの気持ちや葛藤に寄り添いながら、子どもたち同士や周囲の環境との関係づくりをアシストし、実体験に基づいた社会性の獲得を目指します。		
家族支援		積極的に保護者様との面談機会を設け、子育てにおける助言等を行いながら、お子さまの様子や支援について共有します。	移行支援	地域教育機関や児童施設と連携を図っています
地域支援・地域連携		お子さまが地域の様々な場所で居場所を見つけ、気持ちよく過ごしていけるように、お子さまを見守る地域の一員として学校や関係機関との情報連携等を行います。	職員の質の向上	オンライン研修の活用や外部研修への積極的な参加を行っています
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・月一回の事業所オープンデー ・羊の受け入れ（夏季長期休み期間） ・外部講師による自然体験活動 		